



SEADS研修生は鶴岡市内での新規就農を目指し、市内各地で実習を行っています。鶴岡市をはじめ、全国各地から集まった研修生をあたたくご支援ください。

SEADSのホームページは
こちらのQRコードから
ご覧いただけます。

新年の研修がはじまりました

1月9日(火)に校長挨拶が行われ、今年の農業研修が始まりました。挨拶では、例年にないほど暖かい冬であることや、また、令和6年能登半島地震などについて触られました。

怪我なく安全に、また限られた時間を大切にして研修に取り組んで行きましょう。



(校長挨拶から新年の研修が始まった)

ぼかし肥料づくり3

11月上旬から始まったぼかし肥料づくりはいよいよ最終工程に入りました。これまでの過程では、地中から採取した土着菌を培養して種菌を作りました。

1月中旬に種菌と、主な肥料成分となる米糠、鶏糞、粉碎した蟹殻などをぬるま湯と共に混ぜ合わせました。この後最後の発酵工程が始まり、温度が下がりきれば、まもなくぼかし肥料が完成します。



(作成した種菌と米糠ほかを混ぜる様子)

羽黒・朝日地域を視察しました

1月24日(水)に1年生が羽黒地域のさといも栽培農家と朝日地域の促成山菜栽培農家を視察しました。本市では例年積雪があることや、周年農業の重要性を学んだ後ということもあり、説明を受けた研修生からは種苗の入手方法や出荷方法まで幅広く質問が出ていました。



(山菜の促成栽培の説明を伺う)

研修風景



(あさつきを畑から掘り上げる)



(あさつきの向きを揃えて並べる)



(農業士との交流会の様子)



(イエローターニップの収穫)